

2017 春日井市民 第九演奏会

12月3日(日)

15時開演 (14時30分開場)

春日井市民会館

入場料 A席 1,500円 B席 1,000円
[税込・全指定席・未就学児入場不可]

プレトーク (開演10分前より)
第九に秘められた『不滅の恋人』への想い
音楽監督 井村 誠貴



指揮
岸本 沙恵子



ソプラノ
飯田 みち代



アルト
早川 朋子



テノール
松本 薫平



バス
片桐 直樹

音楽監督／井村 誠貴

管弦楽／春日井市交響楽団 合唱／春日井市民第九合唱団 合唱指導／松下 伸也

曲目／チャイコフスキー作曲 序曲「1812年」 作品49「合唱付」

ベートーヴェン作曲 交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

主催／春日井市・春日井市教育委員会・(公財)かすがい市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会

共催／春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団 後援／中部大学・中日新聞社

お問い合わせ：春日井市民第九演奏会実行委員会(中部大学内) TEL0568-51-5250 春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課 TEL0568-85-6079

第九に秘められた「不滅の恋人」への想い

第九の歌詞はシラーの綴った頌歌ではあるが、ベートーヴェンはシラーの詩をカットしたり並び替えたりしている。実はこれ、シラーの言葉を借りたベートーヴェン自身の詩だと言う説がある。シラーにとって重要ではない「Tochter(娘)」と言う言葉を大切にしているのは何故か?「Tochter aus Elysium(天上の楽園の乙女)」は頻繁に使われている。この「娘」こそが、ベートーヴェンの死後、秘密の引出しから発見されたラブレター「不滅の恋人」だと言うのだ。第九が作曲される11年前、「不滅の恋人」との辛い別れをした年とされる1812年のメモの中に「歓喜、神々の美しい火花、娘の序曲を仕上げる」というメモが見つっている。まさに第九の歌詞そのものだ。研究者によると、「不滅の恋人」は「アントニア説」が有力とされているが、もし、第九の歌詞が「不滅の恋人」への想いを綴ったものだとすれば、「天上の楽土から来た娘」や、「天使」と言う言葉から、既に天国に召されていた「ヨゼフィーネ説」も捨てがたい。家族愛に恵まれなかったベートーヴェンが、家族への憧れとして多用した「Bruder(兄弟)」や、「不滅の恋人」を「Tochter(娘)」という言葉に置き換えて想いを強く表したのだとすれば、間違いなくこの第九は、ベートーヴェン自身のメッセージだったと言える。

音楽監督 井村 誠貴

PROFILE

指揮 岸本沙恵子 Saeko Kishimoto

神奈川県出身。県立希望ヶ丘高等学校吹奏楽部にて、2年先輩であった山田和樹氏に影響を受け、学生指揮者を務めたのをきっかけに指揮者を志す。山田氏に指揮の最初の手ほどきを受ける。楽器は打楽器を担当。洗足学園音楽大学声楽専攻を卒業。在学1年次より、同大学附属指揮研究所に在籍。指揮を秋山和慶、河地良智、川本統脩の各氏に、スコアリーディングを島田玲子、西川麻里子の各氏に師事。ベーシッククラス、マスタークラス修了。2003年7月より、東京指揮研究会主催の指揮セミナーにて、ウィーン国立音楽大学指揮科准教授の湯浅勇治氏に師事。2007年度、ローム・ミュージックファンデーション受講。指揮を湯浅勇治氏に、スコアリーディング、ソルフェージュ、コレパティツィオンの基礎を三ツ石潤司氏に師事。2007年度、アフィニス音楽祭のオーディションに合格し、指揮研究員として参加。同音楽祭にて、指揮者の下野竜也氏に師事。2011年、2012年度、ローム・ミュージックファンデーション受講生。2017年、民音(民主音楽協会)主催の国際指揮講習会を受講。尾高忠明氏、Chi-Yong CHUNG氏に指導を受け、韓国のオーケストラでのレッスンを受ける。春日井交響楽団とは、第20回～22回の定期演奏会で共演している。

管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」春日井市民のオーケストラです。1990年(平成2年)に創設され、市民の音楽愛好家を中心に活動しています。団員は、会社員・公務員・教員・主婦・学生・自営業者などからなる約70名で、毎年7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、オーケストラ活動を行っています。「春日井で名曲の演奏を」と心がけ、日々、音楽と向き合い練習を重ねています。本年の第九の指揮者は岸本沙恵子先生です。ここ数年、井村先生の指揮で演奏を行ってきましたが、団員一同、また新たな気持ちで第九に取り組んでいます。ご来場の皆様に音楽を聴く喜びを感じていただければ、私たちにとってこれほど嬉しいことはありません。今後も、春日井市交響楽団にあたたかいご支援をお願いいたします。

(団長 後藤 哲也)

合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために一般市民により編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を機に結成され、今年で25回目を迎えています。公募により集まった総勢242名の大合唱団です。平均年齢は60歳を超えておりますが、今年は従来の中部大混声合唱団の皆さんに加え、高蔵寺高校合唱部の皆さんも参加してください。若々しい歌声にも注目ください。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、また時にはユーモアを交えた指導のもと、一所懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦労しておりますが、第九のテーマである「人類みな兄弟」という喜びを我々自身も感じながら、演奏会においでくださる皆様方に、少しでもその精神を感じ取っていただけるよう精いっぱい歌います。今年は、チャイコフスキーの大序曲「1812年」合唱付で、ロシア語にも挑戦いたします。どうぞご期待ください。

(団長 須藤 章夫)

ソプラノ 飯田みち代 Michiyo Iida

京都大学教育学部教育心理学科卒業。飯塚音楽コンクール大賞他多くのコンクールで受賞、また、愛知県芸術文化選薦を受賞。『ルル』『アイナダマール』『メデア』などの難曲の日本初演を主演し、主演したオペラは芸術祭大賞、ミュージックペンクラブ賞などを受賞した。『歌唱力抜群で、陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す、驚くべき才能』(音楽現代より)などと、絶賛されている。2015年音楽之友社のアンケートにより、世界のディーヴァベスト100に選ばれた。また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリア・ドイツ・オーストリアにてもリトリオサイトルや各種コンサートに出演している。『飯田みち代愛を歌う』『Michiyo Iida singt Richard Strauss und Alban Berg』(プライザーレコード)『前田佳世子歌曲集』などがリリースされている。二期会会員。

アルト 早川 朋子 Tomoko Hayakawa

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。藝大在学中に朝日新聞社主催「芸大メサイア」のアルトソロに抜擢される。アムステルダム音楽院声楽科卒業後、CNIPAL(フランス政府国立マルセイユオペラ研修所)にて研鑽を積む。研修中にオペラ「ヘンゼルとグレーテル」魔女役でデビュー。オペラやオラトリオだけでなく歌曲の演奏会も精力的に行い、これまでにオランダ、ベルギー、ドイツ、フランス、インド等世界各地で演奏。第2回チェコ音楽コンクール第1位。ピエトロアルジェント国際コンクールリリート部門最高位。広島交響楽団、藝大フィルハーモニア、フリスコファンファーレオーケストラ、カンヌ交響楽団等と共演。平田恭子、故朝倉蒼生、Pierre Mak、Elene Golgevitt 各氏に師事。<http://seidelmusicmanagement.com/home/artists/tomoko-hayakawa.html>

テノール 松本 薫平 Kunpei Matsumoto

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。大学卒業後イタリアに渡り、F.コッソット、I.ヴィンコ、E.マルテッリ、D.マツォーラの各氏に師事。オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、イタリアオペラを中心に主役を演じている。ルーマニア、トルブルムレシュで開催された「冬の音楽祭」ではオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」(演奏会形式)のトゥリッド役で出演し、好評を得る。平成13年度兵庫県芸術奨励賞、平成16年度神戸市文化奨励賞、平成20年咲くやこの花賞、平成22年度神戸キワニス文化賞ほか受賞。現在、神戸女学院大学准教授。京都市立芸術大学、神戸山手女子高等学校各講師。関西二期会会員。

バス 片桐 直樹 Naoki Katagiri

京都教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院(オペラ科)修了。第22回藤堂音楽賞受賞。関西二期会オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」でレポレロ役としてデビューし、歌唱、演技ともに高い評価を得る。その後、関西二期会を中心に『愛の妙薬』(ドゥルカマール)、『フィガロの結婚』(伯爵)、『蝶々夫人』(シャープレス)、『ドン・カルロ』(フィリッポ)、『ファウスト』(メフィストフェレス)など、数々のオペラに出演。バス役からバリトン役まで幅広く、これまでに90以上の役を演じ、いずれも好評を博す。特にその端正な音楽性と存在感のある多彩な役作りには定評がある。オペラ以外では、ベートーヴェン『第九』をはじめ、バッハの『マタイ受難曲』、ヴェルディ『レクイエム』など、バロックから現代に至るまでオラトリオ、宗教曲などのソロとして著名指揮者、オーケストラとの共演も多い。関西二期会、京都音楽家クラブ会員。相愛大学非常勤講師。

平成29年 12月3日(日) 15時開演(14時30分開場)

春日井市民会館 A席/1,500円 B席/1,000円
(税込・全指席・未就学児入場不可)

●販売日 10月4日(水) 9:00～

【窓口販売】

文化フォーラム春日井2F・文化情報プラザ (9:00～18:00) ※月曜休館、祝休日の場合は翌平日
春日井市東部市民センター窓口 (9:00～12:00、13:00～17:00)

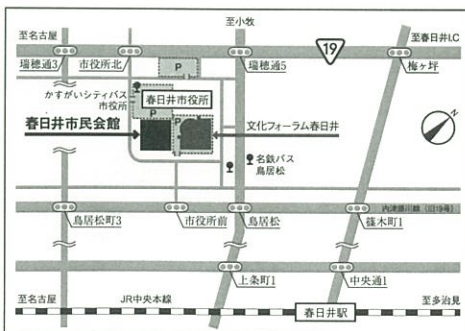
【Web予約】

かすがい市民文化財団ホームページ ※24時間予約受付
www.kasugai-bunka.jp 文化はかすがい

- ・Web会員登録が必要(無料)
- ・予約有効期間は、予約日を含む15日間です。
- ・それ以降は自動的に予約取消となりますので、ご注意ください。
- ・公演日の15日前から前日まで支払完了していないものは、予約キャンセルとみなします。
- ・第九演奏会チケットについては、代引きサービスは利用できません。
- ・車椅子席は、文化フォーラム春日井でのみ取り扱いいます。

※チケット販売初日のWeb予約・購入は9:00からとなります。 ※電話予約及びチケットの取り置きは行いません。

※前売り完売の場合は、当日券の販売はありません。 ※開演後は、客席への入場を制限する場合があります。



会場: 春日井市民会館

〒486-0844
愛知県春日井市鳥居松町5-44

交通のご案内

駐車場は混雑が予想されます。
なるべく公共交通機関や
乗合をご利用ください。

- JR中央線「春日井駅」北口より
北へ徒歩約20分または
名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分
- かすがいシティバスでお越しの方
「市役所」下車、南へ徒歩2分



※都合により出演者の変更になる場合があります。予めご了承ください。